

上三川町ファミリー・サポート・センター 提供会員を募集!!

◎ファミリー・サポート・センターとは

子育ての援助を受けたい人と、行いたい人が会員になり地域で子育てを支えあう有償のボランティア活動です。次のような場合にお手伝いいただいています！

○幼稚園、保育園、習い事への送り迎え

○上の子の参観日や遠足、運動会の時に、下の子をお預かり・・・など

日時、お子さんの年齢（6か月～小学6年生）、内容を聞き、可能であれば、お引き受けください。

都合の悪い時はお断りで大丈夫です！

興味がある方のお問合せ、お待ちしております。

空いた時間に地域の子育て支援に参加してみませんか？

◎会員の条件について

町内に居住している20歳以上の方で、心身ともに健康な方。

申し込み後に指定する講習の受講が必要です。

◎報酬

保育	月曜日から金曜日の午前7時から午後7時まで	1時間あたり700円
	土・日・祝日、年末年始及び上記以外の時間帯	1時間あたり800円
送迎	交通費（自家用車利用時）	1回あたり200円
	公共交通機関、タクシーを使用した場合	実費
食事	食事（ミルクを含む）の提供をした場合	実費



▶問い合わせ先=ファミリー・サポート・センター事務局
(子ども家庭課 相談支援係) ☎ 569137

あなたの力が必要です!!

～消防団員を募集します～

消防団員は、火災等災害発生時に活動する非常勤の地方公務員です。

現在、消防団員のなり手不足が日本全国で課題となっており、本町でも年々団員数が減少しています。

町の安心・安全を守るため、消防団員として活躍してみませんか？

消防団員になってみたい方、少しでも興味がある方はお気軽にお問合せください。

●消防団の活動

○平常時

▶消火・防災訓練=災害現場での活動を想定した訓練(放水訓練等)を行っています。

○災害時

▶消火活動=火災発生時には、消火活動、後方支援などの活動を行います。

▶水防活動=水害発生時には、河川の警戒や土のう工法等により浸水防止活動を行います。

●その他

年報酬、出動手当、退職金制度、準中型免許取得補助(要件有り)、被服貸与有り。



▶問い合わせ先=総務課 防災係 ☎ 569115

消費生活センターにご相談ください

消費豆知識 91

それって占い？占い師や鑑定士を名乗る人物から次々とメッセージが届いてやめられない占いサイトのトラブルに注意！

事例1 占いサイトの体験ページから金運専門の鑑定士とやりとりを交わすようになった。必ず宝くじの高額当選に導くと言われ、口座振り込みで15万円、クレジットカードで30万円を支払ったがいつまで経っても結果が出ない。

事例2 スマートフォンに占いアプリの広告が表示され、無料と思いインストールした。無料は最初の3日間だけで途中から有料になったが、この占いのおかげで借金を返せた人がいると言われたので、信じてやり取りを続けた。コンビニエンスストアでプリペイド型電子マネーを4回購入し、合計5万円を支払った。ネットの書き込みで悪質なアプリと分かった。

事例3 10分間無料という電話占いサイトに会員登録した。電話で名前と生年月日を伝えて占ってもらったと、占い師が構わず話し続け自分から電話を切ることができずに30分以上通話した。その後サイトから1万円以上の請求があった。検索すると不審なサイトとの書き込みがあった。

占い師や鑑定士を名乗る人物に金運や良縁に恵まれるなどと言われ、やりとりのために高額なお金を支払ったが結果は得られないというトラブル事例です。

・「無料登録」「無料鑑定」「無料診断」など無料だからといって気軽に氏名や生年月日、メールアドレス等の個人情報を入力しないようにしましょう。

・占い師や鑑定士を名乗る人物から「あなたは金運を持っている」「高額なお金を手に入れられる」「恋愛運に恵まれる」などのメッセージが届いても安易に返信しないようにしましょう。

・「鑑定を最後まで受けないと不幸になる」「今やめるのはもったいない」など言葉巧みに引き止められても、相手の言葉をうのみにせず、高額な利用に気を付けてやりとりをきっぱりとやめましょう。また、やりとりの内容はトラブルになった場合の証拠として、スクリーンショット等に保存しておきましょう。

▼相談日時 月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
午前9時～正午、午後1時～4時

▼相談場所 上三川町消費生活センター（役場1階 地域生活課内）

▼相談専用電話番号 ⑤⑥91553

まずは、お電話を。消費者ホットライン188でもつながります。

感染拡大防止のために、みなさんのご理解とご協力をお願いします。

かみのかわ平成史 第13回 平成13年(2001)

今号はいよいよ21世紀を迎えた平成13年がテーマです。この年、国内では第1次小泉内閣の発足、東京デイスニーシーのオープンなどがありました。海外では、9月にアメリカ同時多発テロ事件が発生し、大変痛ましい21世紀の幕開けとなりました。

町では、4月にゆうがお公園（本郷台団地）と蓼沼親水公園（東蓼沼）が開園しました。6月には県民の日記念行事が蓼沼緑地公園で行われ、ステージショーやスポーツイベントに約9,000人が訪れました。

さて、令和2年12月時点の町の人口は、31,291人（男16,007人／女15,284人）ですが、町の人口が3万人に到達したのは、この年7月のことでした。この時の人口は、30,004人（男15,251人／女14,753人）です。

旧上三川町・本郷村・明治村が合併して現上三川町が誕生した昭和30年4月の人口は、19,059人でした。当時はまだ町に信号機は一台もなく、ほとんどの家が農業で生計を立てており、鬼怒川の渡し船が現役で活躍していた時代でした。その後、高度経済成長を経て、町に日産自動車栃木工場が建ち、平成13年に人口3万人を突破しました。そして、平成22年の31,621人をピークに緩やかに減少し、現在に至っています。

町の人口はこれからも減少すると予測され、令和7年には3万人を割り、令和27年には2万4千人を下回るという試算も出されています。そのような状況であっても、ふるさと上三川がこれからも発展していくことを願ってやみません。

▼問い合わせ先 生涯学習課 生涯学習係 ☎⑤⑥91559



鬼怒川の渡し船（昭和30年頃）